



## トラブルシューティング

---

この付録では、Cisco Unified Wireless Network Solution インターフェイスに表示されるシステム メッセージのリストと、コントローラと Lightweight アクセス ポイントの LED パターンに関する情報を示し、コントローラのトラブルシューティングに使用できる CLI コマンドについて説明します。この章の内容は、次のとおりです。

- LED の解釈 (P. D-1)
- システム メッセージ (P. D-2)
- CLI を使用したトラブルシューティング (P. D-5)

### LED の解釈

#### コントローラの LED の解釈

LED パターンの情報については、特定のコントローラのクイック スタート ガイドを参照してください。これらのガイドには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/hw/wireless/index.html>

#### Lightweight アクセス ポイント LED の解釈

LED パターンの情報については、特定のアクセス ポイントのハードウェア インストレーション ガイドを参照してください。これらのガイドには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/hw/wireless/index.html>

## システムメッセージ

表 D-1 は、システムメッセージとその説明の一覧です。

表 D-1 システムメッセージとその説明

エラーメッセージ	説明
apf_utils.c 680:Received a CIF field without the protected bit set from mobile xx:xx:xx:xx:xx:xx	クライアントは保護ビットが 0 に設定された、セキュリティが有効になっている WLAN 上でアソシエーション要求を送信しています (アソシエーション要求の Capability フィールドで)。設計されたとおりに、コントローラはアソシエーション要求を却下し、クライアントにはアソシエーションエラーが表示されます。
dtl_arp.c 480:Got an idle-timeout message from an unknown client xx:xx:xx:xx:xx:xx	コントローラの Network Processing Unit (NPU) はタイムアウトメッセージを CPU に送信し、特定のクライアントがタイムアウトまたは期限切れであることを知らせます。これは通常、CPU が内部データベースから無線クライアントを削除したことを NPU に通知していない場合に起こります。クライアントは NPU データベースにとどまるため、ネットワークプロセッサで期限切れになり、CPU に通知されます。CPU はデータベースにないクライアントを検出して、このメッセージを送信します。
STATION_DISASSOCIATE	クライアントが使用を意図的に中断したか、サービスの中断を受けた可能性があります。
STATION_DEAUTHENTICATE	クライアントが使用を意図的に中断したか、認証上の問題があることを示しています。
STATION_AUTHENTICATION_FAIL	設定の有効性、キーの不一致、またはその他の問題を確認します。
STATION_ASSOCIATE_FAIL	Cisco Radio 上の負荷または信号の品質に問題がないか確認します。
LRAD_ASSOCIATED	アソシエートされた Cisco 1000 シリーズ Lightweight アクセスポイントがこの Cisco Wireless LAN Controller で管理されるようになりました。
LRAD_DISASSOCIATED	Cisco 1000 シリーズ Lightweight アクセスポイントが他の Cisco Wireless LAN Controller にアソシエートされているか、完全に接続不可能になっている可能性があります。
LRAD_UP	Cisco 1000 シリーズ Lightweight アクセスポイントは正常に動作しています。処理は必要ありません。
LRAD_DOWN	Cisco 1000 シリーズ Lightweight アクセスポイントに問題があるか、管理上無効にされています。
LRADIF_UP	Cisco Radio は稼働状態です。
LRADIF_DOWN	Cisco Radio に問題があるか、管理上無効にされています。
LRADIF_LOAD_PROFILE_FAILED	クライアント密度がシステムのキャパシティを超えている可能性があります。

表 D-1 システムメッセージとその説明 (続き)

エラーメッセージ	説明
LRADIF_NOISE_PROFILE_FAILED	802.11 以外のノイズが設定しきい値を超えました。
LRADIF_INTERFERENCE_PROFILE_FAILED	802.11 干渉がチャンネル上のしきい値を超えました。チャンネルの割り当てを確認してください。
LRADIF_COVERAGE_PROFILE_FAILED	カバレッジ ホールの可能性が検出されました。Cisco 1000 シリーズ Lightweight アクセス ポイントの履歴を調べて、一般的な問題がないかどうかを確認します。必要に応じて、Cisco 1000 シリーズ Lightweight アクセス ポイントを追加します。
LRADIF_LOAD_PROFILE_PASSED	負荷がしきい値の制限内に戻りました。
LRADIF_NOISE_PROFILE_PASSED	検出されたノイズがしきい値より小さくなりました。
LRADIF_INTERFERENCE_PROFILE_PASSED	検出された干渉がしきい値より小さくなりました。
LRADIF_COVERAGE_PROFILE_PASSED	不良電波を受信しているクライアント数はしきい値内です。
LRADIF_CURRENT_TXPOWER_CHANGED	情報メッセージです。
LRADIF_CURRENT_CHANNEL_CHANGED	情報メッセージです。
LRADIF_RTS_THRESHOLD_CHANGED	情報メッセージです。
LRADIF_ED_THRESHOLD_CHANGED	情報メッセージです。
LRADIF_FRAGMENTATION_THRESHOLD_CHANGED	情報メッセージです。
RRM_DOT11_A_GROUPING_DONE	情報メッセージです。
RRM_DOT11_B_GROUPING_DONE	情報メッセージです。
ROGUE_AP_DETECTED	セキュリティ上の問題がある可能性があります。マップと傾向を使用して調べてください。
ROGUE_AP_REMOVED	不正なアクセス ポイントのタイムアウトが検出されました。ユニットがシャットダウンしたか、カバレッジ領域外に移動しました。
AP_MAX_ROGUE_COUNT_EXCEEDED	現在のアクティブな不正なアクセス ポイント数がシステムのしきい値を超えました。
LINK_UP	肯定的な確認メッセージです。
LINK_DOWN	ポートに問題があるか、管理上無効にされています。
LINK_FAILURE	ポートに問題があるか、管理上無効にされています。
AUTHENTICATION_FAILURE	セキュリティ違反の試行が検出されました。調査してください。
STP_NEWROOT	情報メッセージです。
STP_TOPOLOGY_CHANGE	情報メッセージです。
IPSEC_ESP_AUTH_FAILURE	WLAN IPSec の設定を確認してください。
IPSEC_ESP_REPLAY_FAILURE	IP アドレスのスプーフィング試行がないかどうか確認してください。

表 D-1 システムメッセージとその説明 (続き)

エラーメッセージ	説明
IPSEC_ESP_POLICY_FAILURE	WLAN とクライアントの間で IPsec 設定が矛盾していないかどうか確認してください。
IPSEC_ESP_INVALID_SPI	情報メッセージです。
IPSEC_OTHER_POLICY_FAILURE	WLAN とクライアントの間で IPsec 設定が矛盾していないかどうか確認してください。
IPSEC_IKE_NEG_FAILURE	WLAN とクライアントの間で IPsec IKE 設定が矛盾していないかどうか確認してください。
IPSEC_SUITE_NEG_FAILURE	WLAN とクライアントの間で IPsec IKE 設定が矛盾していないかどうか確認してください。
IPSEC_INVALID_COOKIE	情報メッセージです。
RADIOS_EXCEEDED	サポートされている Cisco Radios の最大数を超過しました。同じレイヤ 2 ネットワークでコントローラの障害を調べるか、別のコントローラを追加してください。
SENSED_TEMPERATURE_HIGH	ファン、空調、その他の冷却装置を確認してください。
SENSED_TEMPERATURE_LOW	室温が低くないか、低温の原因が他にないかどうかを調べてください。
TEMPERATURE_SENSOR_FAILURE	温度センサーを至急交換してください。
TEMPERATURE_SENSOR_CLEAR	温度センサーは正常に動作しています。
POE_CONTROLLER_FAILURE	ポートを確認してください。深刻な障害が検出されました。
MAX_ROGUE_COUNT_EXCEEDED	現在のアクティブな不正なアクセス ポイント数がシステムのしきい値を超過しました。
SWITCH_UP	コントローラは SNMP のポーリングに応答しています。
SWITCH_DOWN	コントローラは SNMP のポーリングに応答していません。コントローラと SNMP の設定を確認してください。
RADIUS_SERVERS_FAILED	RADIUS とコントローラ間のネットワーク接続を確認してください。
CONFIG_SAVED	実行中の設定はフラッシュに保存されました。設定はリブート後にアクティブになります。
MULTIPLE_USERS	同じユーザ名の別のユーザがログインしています。
FAN_FAILURE	Cisco Wireless LAN Controller の温度を監視して、オーバーヒートしないようにしてください。
POWER_SUPPLY_CHANGE	電源が故障していないか確認してください。
COLD_START	Cisco Wireless LAN Controller はリブートされた可能性があります。
WARM_START	Cisco Wireless LAN Controller はリブートされた可能性があります。

## CLI を使用したトラブルシューティング

お使いのコントローラで問題が発生した場合には、この項のコマンドを使用して情報を収集し、問題をデバッグすることができます。

1. **show process cpu**— システム内で各タスクが使用している CPU の現状を表示します。このコマンドは、タスクの中に CPU を独占して別のタスクの実行を妨げているものがないかどうか調べる際に役立ちます。

次のような情報が表示されます。

Name	Priority	CPU Use	Reaper
reaperWatcher	( 3/124)	0 %	( 0/ 0)% I
osapiReaper	(10/121)	0 %	( 0/ 0)% I
TempStatus	(255/ 1)	0 %	( 0/ 0)% I
emWeb	(255/ 1)	0 %	( 0/ 0)% T 300
cliWebTask	(255/ 1)	0 %	( 0/ 0)% I
UtilTask	(255/ 1)	0 %	( 0/ 0)% T 300

上の例のフィールドの説明は、次のとおりです。

- **Name** フィールドは、CPU が実行対象としているタスクです。
- **Priority** フィールドは、次の 2 種類の値を示しています。1) 実際のファンクション コールから生成されたタスクの最初の優先順位。2) システムの各優先順位で割ったタスクの優先順位。
- **CPU Use** フィールドは、それぞれのタスクの CPU 利用率です。
- **Reaper** フィールドは、次の 3 種類の値を示しています。1) ユーザ モードの操作でそのタスクが予定されている所要時間。2) システム モードの操作でそのタスクが予定されている所要時間。3) そのタスクが **Reaper** タスク モニタで監視されているかどうか（監視されている場合は「T」で表示）。タスクが **Reaper** タスク モニタで監視されている場合は、タスク モニタに警告するまでのタイムアウト値も秒単位で示されます。



(注) CPU 総利用率を % で表示するには、**show cpu** コマンドを入力してください。

2. **show process memory**— システム内で各プロセスが割り当てているメモリと、割り当て解除されているメモリの現状を表示します。

次のような情報が表示されます。

Name	Priority	BytesInUse	BlocksInUse	Reaper
reaperWatcher	( 3/124)	0	0	( 0/ 0)% I
osapiReaper	(10/121)	0	0	( 0/ 0)% I
TempStatus	(255/ 1)	308	1	( 0/ 0)% I
emWeb	(255/ 1)	294440	4910	( 0/ 0)% T 300
cliWebTask	(255/ 1)	738	2	( 0/ 0)% I
UtilTask	(255/ 1)	308	1	( 0/ 0)% T 300

上の例のフィールドの説明は、次のとおりです。

- **Name** フィールドは、CPU が実行対象としているタスクです。
- **Priority** フィールドは、次の 2 種類の値を示しています。1) 実際のファンクション コールから生成されたタスクの最初の優先順位。2) システムの各優先順位で割ったタスクの優先順位。
- **BytesInUse** フィールドは、ダイナミック メモリの割り当てでそのタスクに使用される実際のバイト数です。
- **BlocksInUse** フィールドは、そのタスクを実行する際に割り当てられる連続メモリです。

- Reaper フィールドは、次の3種類の値を示しています。1) ユーザモードの操作でそのタスクが予定されている所要時間。2) システムモードの操作でそのタスクが予定されている所要時間。3) そのタスクが Reaper タスク モニタで監視されているかどうか（監視されている場合は「T」で表示）。タスクが Reaper タスク モニタで監視されている場合は、タスク モニタに警告するまでのタイムアウト値も秒単位で示されます。
3. **show tech-support**— 現在の設定内容、最新のクラッシュ ファイル、CPU 利用率、メモリ利用率など、システムの状態についての一連の情報を表示します。
  4. **show running-config**— コントローラの現在の設定内容がすべて表示されます。アクセス ポイントの設定は表示されません。このコマンドで表示されるのは、ユーザが設定した値だけです。システムから設定されたデフォルト値は表示されません。このコマンドは **show run-config** コマンドとは違い、現在の設定内容の一部と多数のダイナミック情報を出力しません。その代わりに **show running-config** コマンドでは、コントローラの設定内容をコマンド形式の平文で出力します。

以下は、その出力例です。

```
radius auth add 1 10.50.3.104 1812 ascii ****

radius backward compatibility enable

radius admin-authentication disable

radius cred-cache enable

radius callStationIdType macAddr

radius acct retransmit-timeout 1 4

radius acct network 1 disable

radius auth rfc3576 enable 1

radius auth retransmit-timeout 1 6

radius auth network 1 disable

radius auth management 1 disable

radius auth ipsec enable
```



(注) 平文でパスワードを表示するには、**config password-cleartext enable** を入力してください。このコマンドを実行するには、管理者のパスワードを入力する必要があります。このコマンドは、このセッションに限り有効です。リブート後は、保存されません。



(注) このコマンドの出力をアップロードする際に、TFTP は使用できません。この出力は、必要に応じてカット & ペーストしてください。